４－２　生活環境

４－２－１　大気環境

事業計画地の周囲における測定局として、一般環境大気測定局（以下、「一般局」という。）が阪南市に 1 局設置されている。

測定局の測定項目等の概要及び位置は、表 4-2-1 及び図 4-2-1 に示すとおりである。

表 4-2-1　測定局の概要及び測定項目（令和 2 年度）

区分	測定局名	所在地	用途地域	測定項目						
				二酸化硫黄	二酸化窒素	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	光化学オキシダント	ダイオキシン類
一般局	南海団地	阪南市舞 4-6-14	住	－	●	－	●	●	●	○

注：1. 「●」は測定が行われていること、「－」は行われていないことを示す。なお、「○」で示したダイオキシン類については奇数年度調査のため令和 2 年度には調査されていない。

2. 表中の「住」は、「都市計画法」（昭和 43 年法律第 100 号）第 8 条に定める第 1 種及び第 2 種住居専用地域、第 1 種及び第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種及び第 2 種住居地域並びに準住居地域を示す。

〔「大阪府環境白書　2021 年版」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

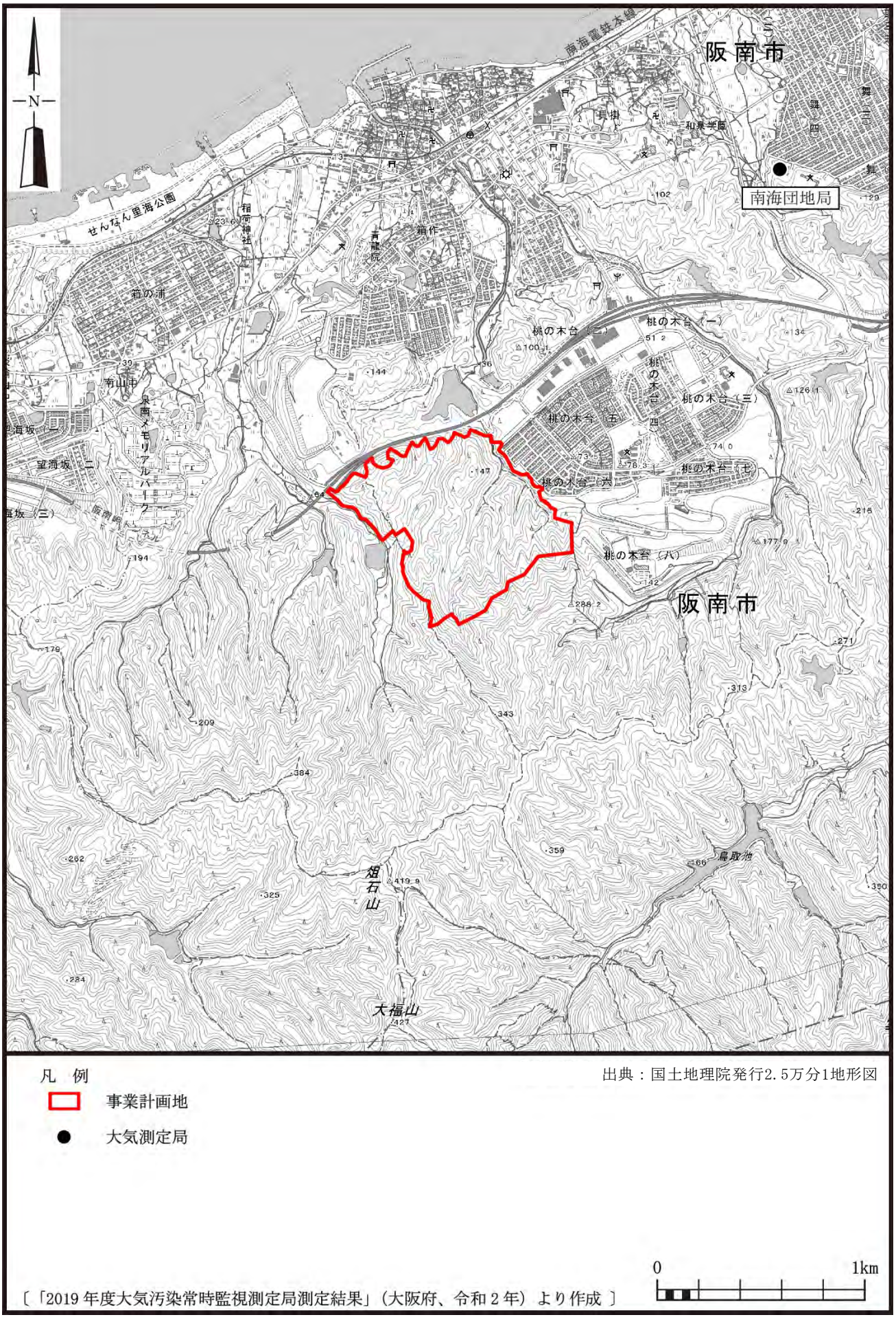


図 4-2-1　大気測定局の位置

（１）二酸化硫黄

二酸化硫黄は、一般局である南海団地局において測定されていない。

（２）二酸化窒素

二酸化窒素は、一般局である南海団地局において測定されており、二酸化窒素の年平均値の経年変化は表 4-2-2 に示すとおりである。

平成 28 年度から令和 2 年度の年平均値の経年変化では、ほぼ横ばいであった。

令和 2 年度の測定結果は表 4-2-3 に示すとおりであり、環境基準に適合している。

表 4-2-2　二酸化窒素の年平均値の経年変化

単位：ppm

年度／局名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
南海団地	0.007	0.006	0.006	0.006	0.005

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

表 4-2-3　二酸化窒素の測定結果（令和 2 年度）

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値の最高値	1 時間値が 0.2ppm を超えた時間数とその割合		1 時間値が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下の時間数とその割合		日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合		日平均値の年間 98%値	98%値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数	環境基準の適否
	（日）	(時間)	(ppm)	(ppm)	(時間)	(%)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(日)	(適○否×)
南海団地	362	8601	0.005	0.045	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.013	0	○

注：1.「98%値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数」とは、1 年間の日平均値のうち低い方から 98%に相当する値で、かつ、0.06ppm を超えた日数である。

2.「環境基準の適否」の適合は、98%値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数が 0 であること。

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

（３）一酸化炭素

一酸化炭素は、一般局である南海団地局において測定されていない。

（４）浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質は、一般局である南海団地局において測定されており、浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化は表 4-2-4 に示すとおりである。

平成 28 年度から平成 30 年度の年平均値の経年変化は横ばいで、令和元年に減少したものの令和 2 年度には増加している。

令和 2 年度の測定結果は表 4-2-5 に示すとおりであり、環境基準に適合している。

表 4-2-4　浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

単位：mg/m^3

年度／局名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
南海団地	0.016	0.016	0.016	0.014	0.015

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

表 4-2-5　浮遊粒子状物質の測定結果（令和 2 年度）

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値が 0.20mg/m^3 を超えた時間数をその割合		日平均値が 0.10mg/m^3 を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2%除外地	日平均値が 0.10mg/m^3 を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	長期的評価による日平均値が 0.10mg/m^3 を超えた日数	長期的評価による環境基準の適否
	（日）	(時間)	(mg/m^3)	(時間)	(%)	（日）	(%)	(mg/m^3)	(mg/m^3)	(適○否×)	（日）	(適○否×)
南海団地	362	8647	0.015	0	0.0	0	0.0	0.112	0.035	○	0	○

注：1.「長期的評価による日平均値が 0.10mg/m^3 を超えた日数」とは、日平均値の高い方から 2%範囲の日平均値を除外した後の日平均値のうち 0.10mg/m^3 を超えた日数である。

2.「長期的評価による環境基準の適否」の適合は、長期的評価による日平均値 0.10mg/m^3 を超えた日数が 0 であること。

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

（５）微小粒子状物質（PM2.5）

微小粒子状物質は、一般局である南海団地局において測定されており、微小粒子状物質の年平均値の経年変化は表 4-2-6 に示すとおりである。

平成 28 年度から令和 2 年度の年平均値の経年変化では、緩やかな減少傾向となっている。

令和 2 年度の測定結果は表 4-2-7 に示すとおりであり、環境基準に適合している。

表 4-2-6　微小粒子状物質の年平均値の経年変化

単位：μg/m^3

年度／局名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
南海団地	11.4	11.4	11.1	9.8	9.5

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

表 4-2-7　微小粒子状物質の測定結果（令和 2 年度）

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	日平均値の年間98%値	日平均値が 35μg/m^{3}を超えた日数とその割合		98%値評価による日平均値が 35μg/m^{3}を超えた日数	環境基準達成状況	
	（日）	（時間）	（μg/m^3）	（μg/m^3）	（日）	（%）	（日）	（長期基準）	（短期基準）
南海団地	361	8647	9.5	26.0	1	0.3	0	○	○

注：1.「98%値評価による日平均値が 35μg/m^{3}を超えた日数」とは、1 年間の日平均値のうち低い方から 98%の範囲にあって、かつ 35μg/m^3 を超えた日数である。

2.「環境基準達成状況」の適合は、長期基準として、年平均値が 15μg/m^{3}以下であり、かつ短期基準として日平均値の年間 98%値が 35μg/m^{3}以下であること。

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

（６）光化学オキシダント

光化学オキシダントの年平均値の経年変化及び測定結果は表 4-2-8 及び表 4-2-9 に示すとおりである。

光化学オキシダントは、一般局である南海団地局において測定されている。

平成 28 年度から令和 2 年度の年平均値の経年変化では、ほぼ横ばい傾向であった。

令和 2 年度の昼間の年平均値は 0.038ppm である。環境基準の適合状況を昼間の 1 時間値で評価すると、環境基準を超えた時間数は 376 時間であり、環境基準に不適合となっている。

表 4-2-8　光化学オキシダントの年平均値の経年変化

単位：ppm

年度／局名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
南海団地	0.037	0.038	0.038	0.037	0.038

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

表 4-2-9　光化学オキシダントの測定結果（令和 2 年度）

測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppm を越えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm 以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値	環境基準の適否
	（日）	(時間)	(ppm)	（日）	(時間)	（日）	(時間)	(ppm)	(ppm)	適○ 否×
南海団地	365	5379	0.038	86	376	0	0	0.106	0.050	×

注：1. 昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。

2. 「環境基準の適否」の適合は、1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数が 0 であること。

〔「2020 年度大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

（７）ダイオキシン類

ダイオキシン類の年平均値の経年変化は表 4-2-10 に示すとおりである。

ダイオキシン類は、一般局である南海団地局において測定されている。

平成 27 年度から令和元年度の年平均値の経年変化では、緩やかな減少傾向であった。

令和元年度の年平均値は 0.0073 pg-TEQ/m^3であり、環境基準に適合している。

表 4-2-10　ダイオキシン類の年平均値の経年変化

単位：pg-TEQ/m^3

年度／局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度					環境基準
					春季	夏季	秋季	冬季	年平均	
南海団地	0.0097	－	0.0089	－	－	0.0069	－	0.0076	0.0073	年平均値 0.6 pg-TEQ/m^3 以下

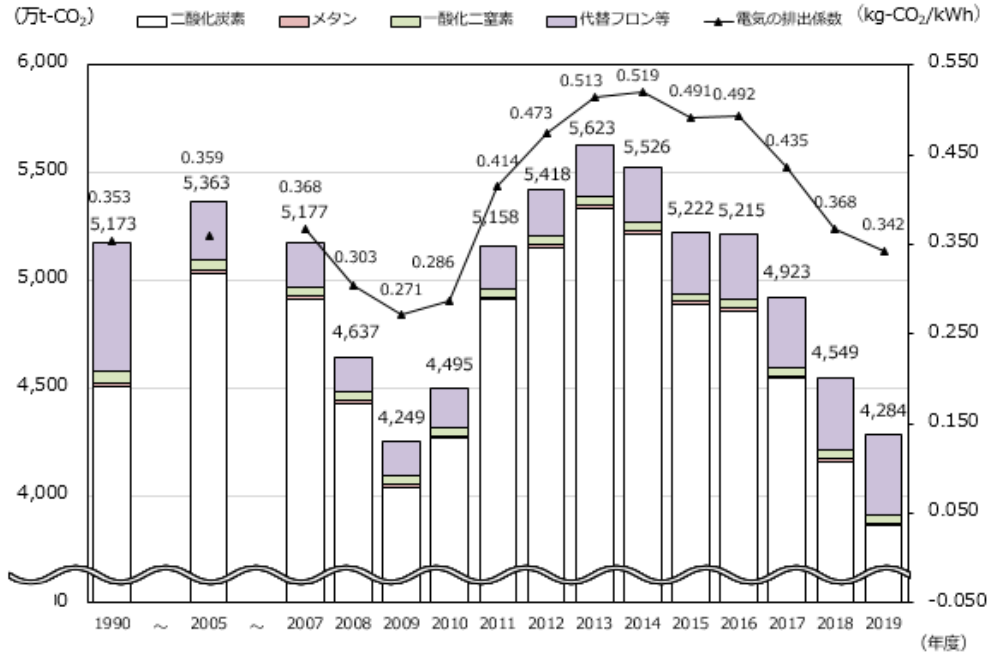
注：「－」は、測定が行われていないことを示す。

〔「大阪府環境白書　2016～2020 年」（大阪府、平成 28 年～令和 2 年）より作成〕

（８）温室効果ガス

大阪府域における温室効果ガス排出推定量の推移は、図 4-2-2 に示すとおりである。

2019 年度の温室効果ガス排出量は 4,284 万 t であり、前年と比べて 5.8%、表 4-2-11 に示す通り、基準年である 2013 年度と比べ 23.8%の減少となっている。



注：1. 電気の排出係数は、2005 年度は一般電気事業者等（現行制度における小売電気事業者）に対して大阪府が行った調査等により府内基礎排出係数を推計し、2008 年度以降は同様の調査等により府内調整後排出係数を推計し、算定に用いた。

2. 四捨五入の関係で、各値の合計と合計値が一致しないものがある。

〔大阪府ホームページより作成〕

図 4-2-2　温室効果ガス排出量の推移

表 4-2-11　基準年度（2013 年度）との温室効果ガス排出量の比較

（単位：万t-CO_2）

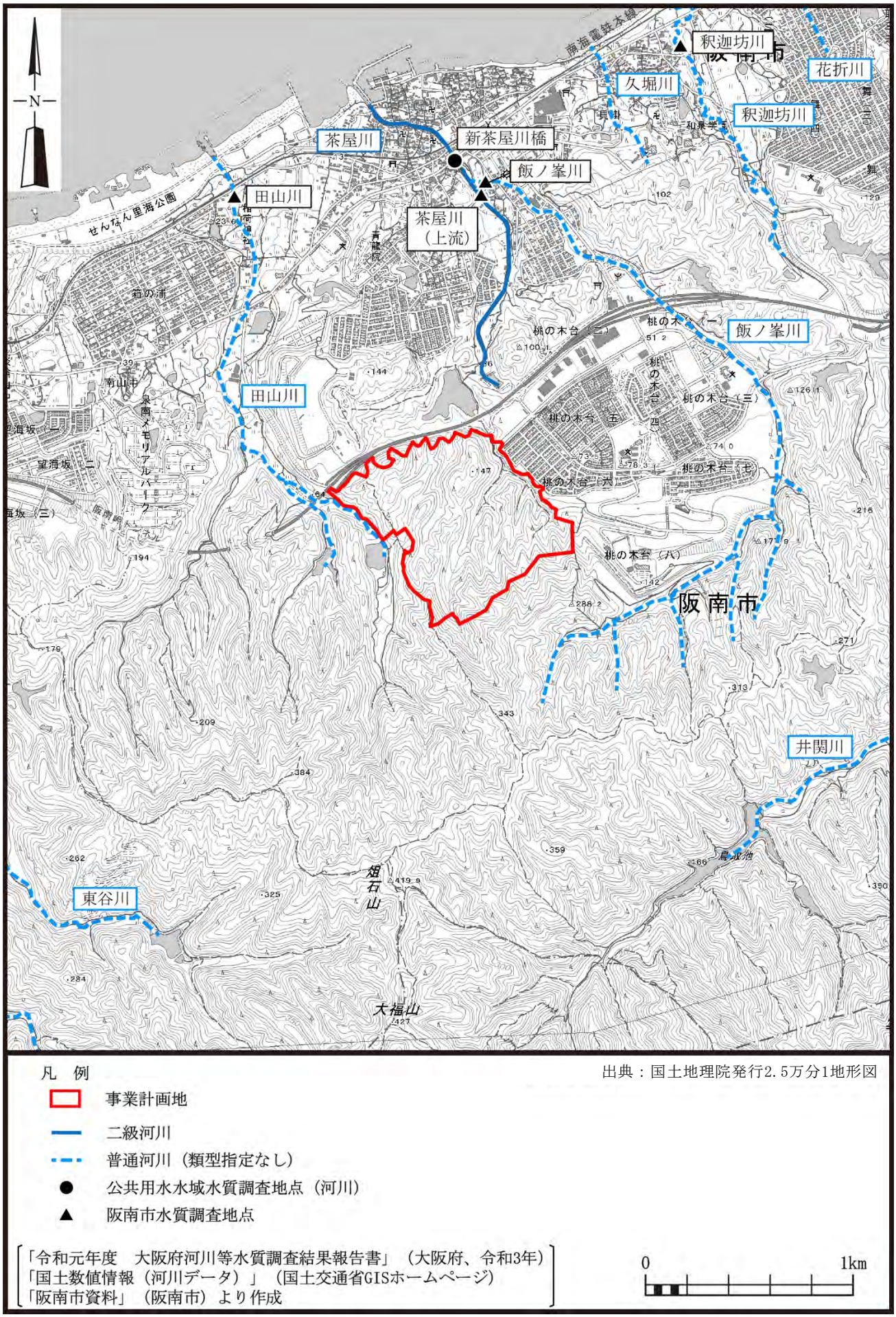
		2013年度	2017年度	2018年度	2019年度	二酸化炭素構成比	2013年度比増減率	前年度比増減率
エネルギー起源	産業部門	1,394	1,207	1,130	1,042	27.0%	-25.3%	-7.8%
	業務部門	1,743	1,329	1,226	1,136	29.5%	-34.8%	-7.3%
	家庭部門	1,287	1,151	985	855	22.2%	-33.6%	-13.2%
	運輸部門	688	650	614	631	16.4%	-8.3%	2.8%
	エネルギー転換部門	43	40	36	33	0.9%	-22.7%	-7.6%
廃棄物部門		182	166	166	161	4.2%	-11.6%	-3.3%
二酸化炭素		5,337	4,542	4,157	3,858	100.0%	-27.7%	-7.2%
その他ガス		287	380	392	426	–	48.5%	8.7%
温室効果ガス合計		5,623	4,923	4,549	4,284	–	-23.8%	-5.8%

４－２－２　水環境

（１）水質（河川）

事業計画地周辺の河川における水質調査地点の位置は、図 4-2-3 に示すとおりである。

事業計画地周辺では、公共用水域 1 地点、阪南市が実施している 4 地点の計 5 地点で水質調査を実施している。



凡　例

- 事業計画地
- 二級河川
- 普通河川（類型指定なし）
- ● 公共用水水域水質調査地点（河川）
- ▲ 阪南市水質調査地点

出典：国土地理院発行2.5万分1地形図

「令和元年度　大阪府河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和3年）
「国土数値情報（河川データ）」（国土交通省GISホームページ）
「阪南市資料」（阪南市）より作成

0　1km

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-W05.html

図 4-2-3　事業計画地周辺の河川における水質調査地点の位置

① 生活環境項目

平成 29～令和元年度における生活環境項目の水質調査結果は、表 4-2-12(1)～(6)に示すとおりである。

事業計画地周辺の河川における調査地点の新茶屋川橋は準基準点であり、環境基準の水域類型指定はない。

表 4-2-12(1)　生活環境項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	茶屋川（類型指定無）			
		新茶屋川橋			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	-/16	7.2	8.9	
DO	mg/L	-/4	8.7	14	11
BOD	mg/L	-/4	0.8	3.3	1.9
COD	mg/L	-/4	3.5	5.2	4.3
SS	mg/L	-/4	<1	2	1
大腸菌群数	MPN/100mL				
全窒素	mg/L	-/2	1.1	3.1	2.1
全りん	mg/L	-/2	0.19	0.25	0.22
全亜鉛	mg/L	-/1	0.009	0.009	0.009
ノニルフェノール	mg/L				
LAS	mg/L				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

表 4-2-12(2)　生活環境項目の水質調査結果（令和元年度）

項目	単位	茶屋川（類型指定無）			
		新茶屋川橋			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	-/16	7.1	9.3	
DO	mg/L	-/4	9.5	13	11
BOD	mg/L	-/4	1.2	1.8	1.5
COD	mg/L	-/4	2.6	4.1	3.3
SS	mg/L	-/4	<1	1	1
大腸菌群数	MPN/100mL				
全窒素	mg/L	-/2	1.0	1.7	1.4
全りん	mg/L	-/2	0.14	0.16	0.15
全亜鉛	mg/L	-/1	0.006	0.006	0.006
ノニルフェノール	mg/L				
LAS	mg/L				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和元年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 3 年）より作成〕

表 4-2-12(3)　生活環境項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	釈迦坊川（類型指定無）			
		釈迦坊川			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	-/4	7.4	7.9	7.7
DO	mg/L	-/4	6.8	11	8.7
BOD	mg/L	-/4	0.7	1.9	1.3
COD	mg/L	-/4	2.1	6.4	4.3
SS	mg/L	-/4	<1	6	2
大腸菌群数	MPN/100mL	-/4	1.4×10^{2}	1.3×10^{4}	3.7×10^{3}
全窒素	mg/L	-/4	0.45	1.0	0.68
全りん	mg/L	-/4	0.019	0.067	0.046
全亜鉛	mg/L	-/1	0.008	0.008	0.008
ノニルフェノール	mg/L				
LAS	mg/L				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-12(4)　生活環境項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	茶屋川（類型指定無）			
		茶屋川（上流）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	-/4	8.4	9.4	8.7
DO	mg/L	-/4	9.5	12	10
BOD	mg/L	-/4	1.7	3.8	2.7
COD	mg/L	-/4	3.1	7.0	5.2
SS	mg/L	-/4	<1	2	2
大腸菌群数	MPN/100mL	-/4	4.5	4.6×10^{3}	1.5×10^{3}
全窒素	mg/L	-/4	1.1	2.3	1.6
全りん	mg/L	-/4	0.15	0.31	0.25
全亜鉛	mg/L	-/1	0.006	0.006	0.006
ノニルフェノール	mg/L				
LAS	mg/L				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-12(5)　生活環境項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	飯ノ峯川（類型指定無）			
		飯ノ峯川			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	-/4	8.1	8.8	8.5
DO	mg/L	-/4	8.8	12	10
BOD	mg/L	-/4	0.9	2.2	1.5
COD	mg/L	-/4	1.9	6.2	4.1
SS	mg/L	-/4	<1	1	1
大腸菌群数	MPN/100mL	-/4	1.7×10	7.9×10^{3}	2.4×10^{3}
全窒素	mg/L	-/4	0.33	1.0	0.62
全りん	mg/L	-/4	0.011	0.047	0.022
全亜鉛	mg/L	-/1	0.011	0.011	0.011
ノニルフェノール	mg/L				
LAS	mg/L				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-12(6)　生活環境項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	田山川（類型指定無）			
		田山川			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	-/4	7.0	7.8	7.5
DO	mg/L	-/4	6.7	12	8.9
BOD	mg/L	-/4	0.7	1.6	1.1
COD	mg/L	-/4	2.0	6.0	3.5
SS	mg/L	-/4	<1	2	1
大腸菌群数	MPN/100mL	-/4	2.3×10^{2}	7.9×10^{3}	2.4×10^{3}
全窒素	mg/L	-/4	0.52	0.89	0.79
全りん	mg/L	-/4	0.014	0.56	0.17
全亜鉛	mg/L	-/1	0.007	0.007	0.007
ノニルフェノール	mg/L				
LAS	mg/L				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

② 健康項目

平成 29～令和元年度における健康項目の水質調査結果は、表 4-2-13(1)～(6)に示すとおりであり、すべての項目で環境基準に適合している。

表 4-2-13(1)　健康項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項　目	単位	環境基準	茶屋川（類型指定無）			
			新茶屋川橋			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/2	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/2	N.D	N.D	N.D
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/4	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/2	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	N.D	N.D	N.D
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	0/2	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	0/2	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	0/2	<0.004	<0.004	<0.004
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下	0/1	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	0/1	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	0/1	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下	0/1	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	0/2	0.86	1.7	1.3
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0/2	0.16	0.19	0.18
ほう素	mg/L	1mg/L以下	0/2	0.16	0.20	0.18
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
2. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和 4 年)より作成〕

表 4-2-13(2)　健康項目の水質調査結果（令和元年度）

項　目	単位	環境基準	茶屋川（類型指定無）			
			新茶屋川橋			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/2	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/2	N.D	N.D	N.D
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/4	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/2	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	N.D	N.D	N.D
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	0/2	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	0/2	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	0/2	<0.004	<0.004	<0.004
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下	0/1	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	0/1	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	0/1	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下	0/1	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	0/2	0.76	1.3	1.0
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0/2	0.18	0.18	0.18
ほう素	mg/L	1mg/L以下	0/2	0.15	0.17	0.16
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005

注：1. 「m/n」のｎは調査対象検体数、ｍは環境基準を超えた検体数を表している。
　　2. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和元年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和３年)より作成〕

表 4-2-13(3)　健康項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項　目	単位	環境基準	釈迦坊川（類型指定無）			
			釈迦坊川			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/1	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/1	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下				
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下				
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下				
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下				
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下				
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下				
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下				
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下				
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下				
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下				
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下				
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下				
セレン	mg/L	0.01mg/L以下				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下				
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0/1	0.10	0.10	0.10
ほう素	mg/L	1mg/L以下	0/1	0.07	0.07	0.07
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
　　2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-13(4)　健康項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項　目	単位	環境基準	茶屋川（類型指定無）			
			茶屋川（上流）			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/1	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/1	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下				
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下				
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下				
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下				
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下				
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下				
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下				
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下				
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下				
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下				
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下				
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下				
セレン	mg/L	0.01mg/L以下				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下				
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0/1	0.19	0.19	0.19
ほう素	mg/L	1mg/L以下	0/1	0.20	0.20	0.20
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
　　2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-13(5)　健康項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項　目	単位	環境基準	飯ノ峯川（類型指定無）			
			飯ノ峯川			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/1	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/1	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下				
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下				
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下				
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下				
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下				
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下				
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下				
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下				
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下				
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下				
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下				
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下				
セレン	mg/L	0.01mg/L以下				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下				
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0/1	0.16	0.16	0.16
ほう素	mg/L	1mg/L以下	0/1	0.15	0.15	0.15
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
　　2. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-13(6)　健康項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項　目	単位	環境基準	田山川（類型指定無）			
			田山川			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/1	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/1	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/1	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下				
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下				
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下				
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下				
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下				
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下				
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下				
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下				
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下				
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下				
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下				
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下				
セレン	mg/L	0.01mg/L以下				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下				
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0/1	0.09	0.09	0.09
ほう素	mg/L	1mg/L以下	0/1	0.05	0.05	0.05
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下				

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
　　2. 表中「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

③ 特殊項目

平成 29～令和元年度における特殊項目の水質調査結果は、表 4-2-14(1)～(6)に示すとおりである。

表 4-2-14(1)　特殊項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	茶屋川（類型指定無）			
		新茶屋川橋			
		m/n	最小値	最大値	平均値
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	-/1	N.D	N.D	N.D
フェノール類	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
鉄（溶解性）	mg/L	-/1	<0.08	<0.08	<0.08
マンガン（溶解性）	mg/L	-/1	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	-/1	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	-/1	0.01	0.01	0.01
アンモニア性窒素	mg/L	-/2	0.07	0.58	0.33
硝酸性窒素	mg/L	-/2	0.79	1.6	1.2
亜硝酸性窒素	mg/L	-/2	0.07	0.11	0.09
りん酸性りん	mg/L	-/2	0.15	0.23	0.19

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「N.D」は検出されず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和 4 年)より作成〕

表 4-2-14(2)　特殊項目の水質調査結果（令和元年度）

項目	単位	茶屋川（類型指定無）			
		新茶屋川橋			
		m/n	最小値	最大値	平均値
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	-/1	N.D	N.D	N.D
フェノール類	mg/L	-/1	0.006	0.006	0.006
銅	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
鉄（溶解性）	mg/L	-/1	<0.08	<0.08	<0.08
マンガン（溶解性）	mg/L	-/1	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	-/1	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	-/1	<0.01	<0.01	<0.01
アンモニア性窒素	mg/L	-/2	0.14	0.30	0.22
硝酸性窒素	mg/L	-/2	0.68	1.2	0.94
亜硝酸性窒素	mg/L	-/2	0.07	0.08	0.08
りん酸性りん	mg/L	-/2	0.13	0.14	0.14

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「N.D」は検出されず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和元年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和 3 年)より作成〕

表 4-2-14(3)　特殊項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	釈迦坊川（類型指定無）			
		釈迦坊川			
		m/n	最小値	最大値	平均値
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	-/4	<0.5	0.6	0.5
フェノール類	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
鉄（溶解性）	mg/L	-/1	0.16	0.16	0.16
マンガン（溶解性）	mg/L	-/1	0.28	0.28	0.28
全クロム	mg/L	-/1	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	-/4	<0.01	0.14	0.04
アンモニア性窒素	mg/L	-/4	<0.04	0.46	0.15
硝酸性窒素	mg/L	-/1	0.42	0.42	0.42
亜硝酸性窒素	mg/L	-/1	<0.04	<0.04	<0.04
りん酸性りん	mg/L	-/4	0.013	0.050	0.029

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「<」は報告下限値未満を示す。

〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-14(4)　特殊項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	茶屋川（類型指定無）			
		茶屋川（上流）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	-/4	<0.5	<0.5	<0.5
フェノール類	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
鉄（溶解性）	mg/L	-/1	0.10	0.10	0.10
マンガン（溶解性）	mg/L	-/1	0.02	0.02	0.02
全クロム	mg/L	-/1	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	-/4	0.01	0.20	0.08
アンモニア性窒素	mg/L	-/4	<0.04	<0.04	<0.04
硝酸性窒素	mg/L	-/1	1.0	1.0	1.0
亜硝酸性窒素	mg/L	-/1	<0.04	<0.04	<0.04
りん酸性りん	mg/L	-/4	0.12	0.24	0.19

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「<」は報告下限値未満を示す。

〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-14(5)　特殊項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	飯ノ峯川（類型指定無）			
		飯ノ峯川			
		m/n	最小値	最大値	平均値
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	-/4	<0.5	0.6	0.5
フェノール類	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
鉄（溶解性）	mg/L	-/1	<0.08	<0.08	<0.08
マンガン（溶解性）	mg/L	-/1	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	-/1	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	-/4	0.01	0.03	0.02
アンモニア性窒素	mg/L	-/4	<0.04	0.68	0.20
硝酸性窒素	mg/L	-/1	<0.04	<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素	mg/L	-/1	<0.04	<0.04	<0.04
りん酸性りん	mg/L	-/4	0.004	0.045	0.017

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「<」は報告下限値未満を示す。

〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

表 4-2-14(6)　特殊項目の水質調査結果（平成 29 年度）

項目	単位	田山川（類型指定無）			
		田山川			
		m/n	最小値	最大値	平均値
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	-/4	<0.5	0.9	0.6
フェノール類	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	-/1	<0.005	<0.005	<0.005
鉄（溶解性）	mg/L	-/1	0.09	0.09	0.09
マンガン（溶解性）	mg/L	-/1	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	-/1	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	-/4	<0.01	0.01	0.01
アンモニア性窒素	mg/L	-/4	<0.04	<0.04	<0.04
硝酸性窒素	mg/L	-/1	<0.04	<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素	mg/L	-/1	<0.04	<0.04	<0.04
りん酸性りん	mg/L	-/4	0.003	0.060	0.028

注：1. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
2. 表中の「<」は報告下限値未満を示す。

〔「平成 29 年度　阪南市河川水質調査業務委託　結果報告書」（阪南市提供）より作成〕

④ ダイオキシン類

阪南市での河川におけるダイオキシン類調査結果は表 4-2-15 に、調査地点は、図 4-2-4 に示すとおりである。

表 4-2-15　ダイオキシン類の測定結果（令和 2 年度）

調査主体	水域名	河川名	調査地点名	水質測定値(pg-TEQ/L)					底質測定値(pg-TEQ/g)
				1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	年平均値	
大阪府	泉州諸河川	男里川	男里川橋	0.16	0.096			0.13	0.62

注：「空欄」は、測定が行われていないことを示す。
年間測定回数は水質 2 回、底質 1 回である。

〔「大阪府環境白書　2021 年」(大阪府、令和 3 年)より作成〕

（２）水質（海域）

事業計画地周辺の海域における水質調査地点の位置は、図 4-2-5(1)、(2)に示すとおりである。

事業計画地周辺では、公共用水域 7 地点で水質調査を実施している。

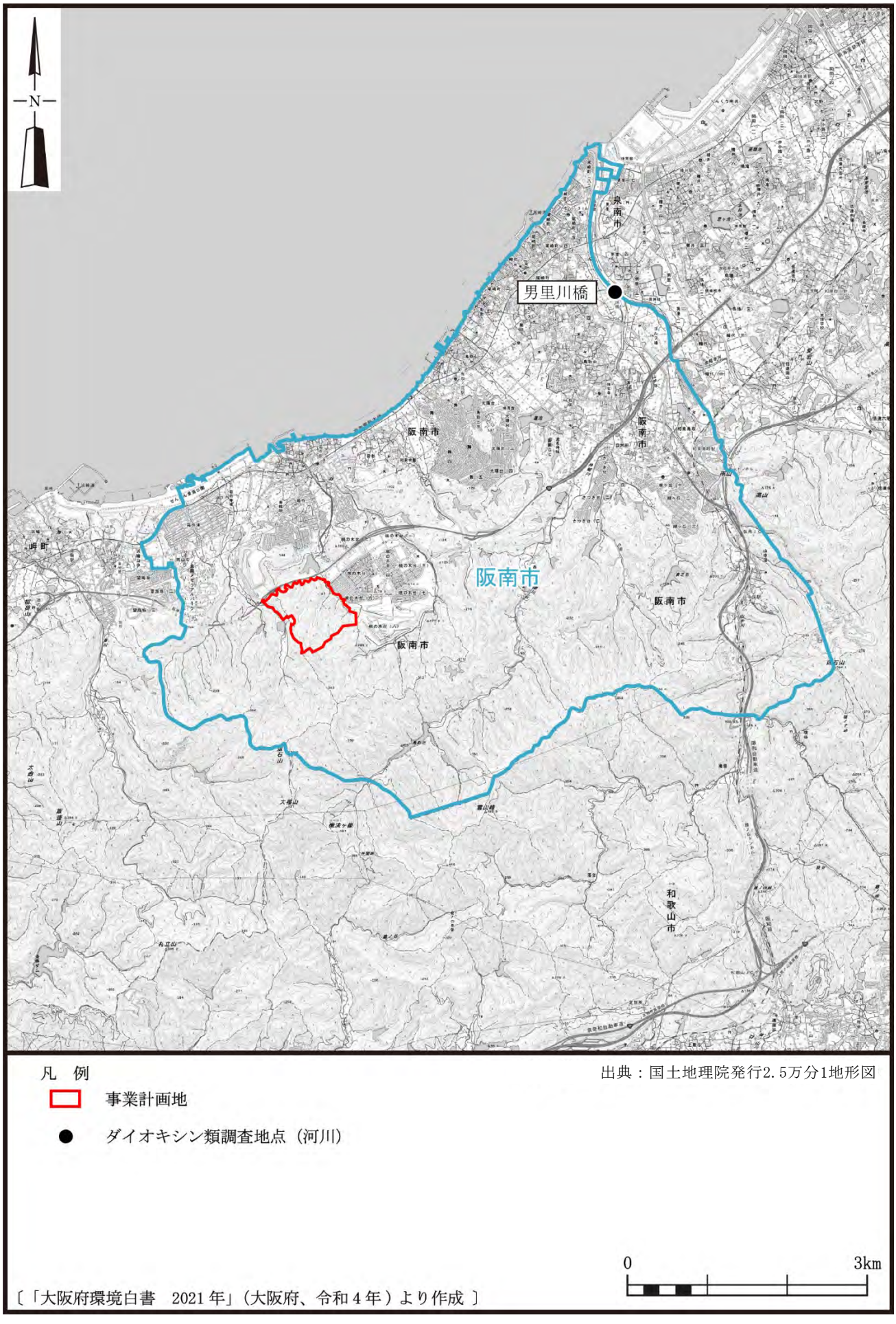


図 4-2-4　事業計画地周辺の河川におけるダイオキシン類調査地点の位置

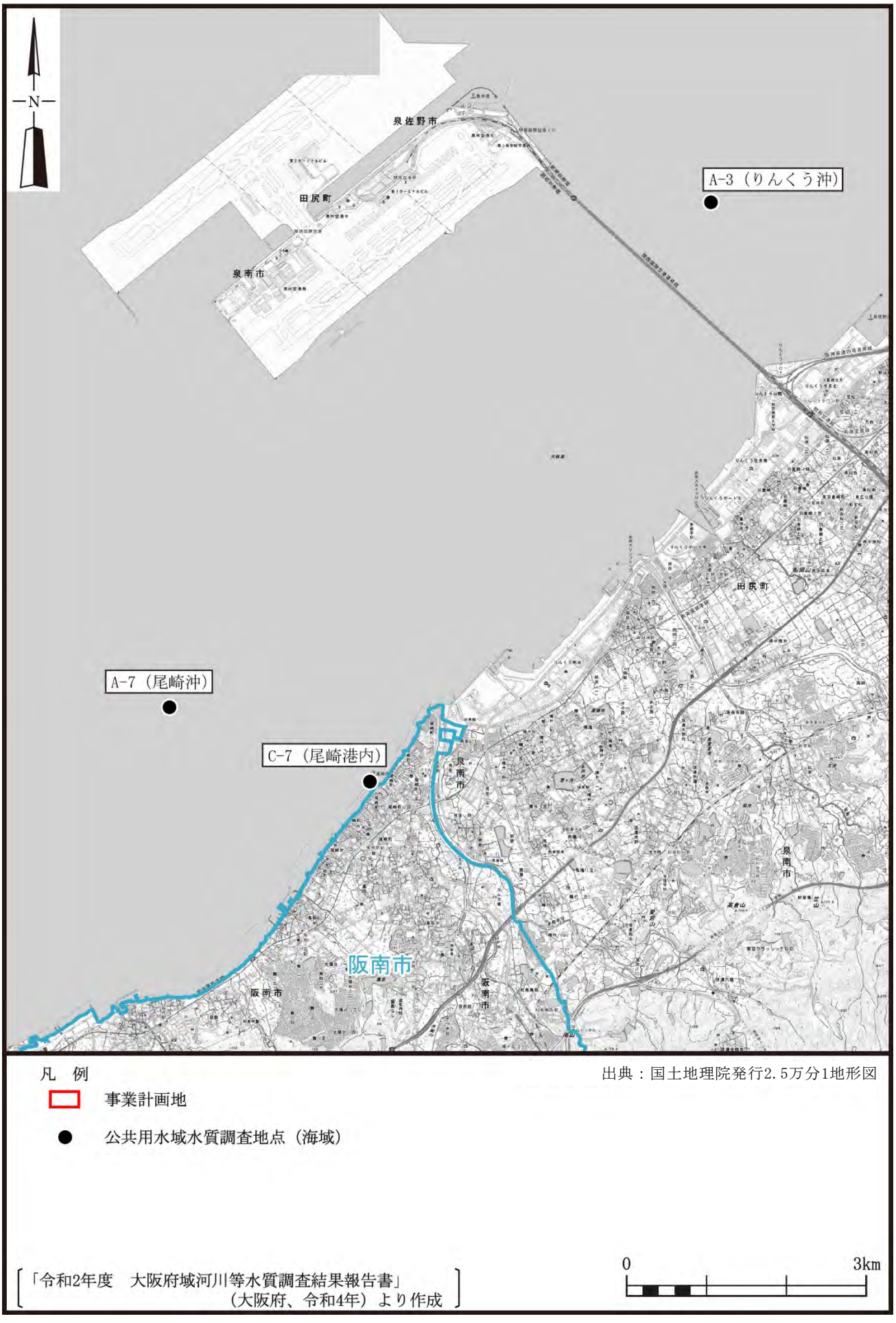


図 4-2-5（1）　事業計画地周辺の海域における水質調査地点の位置

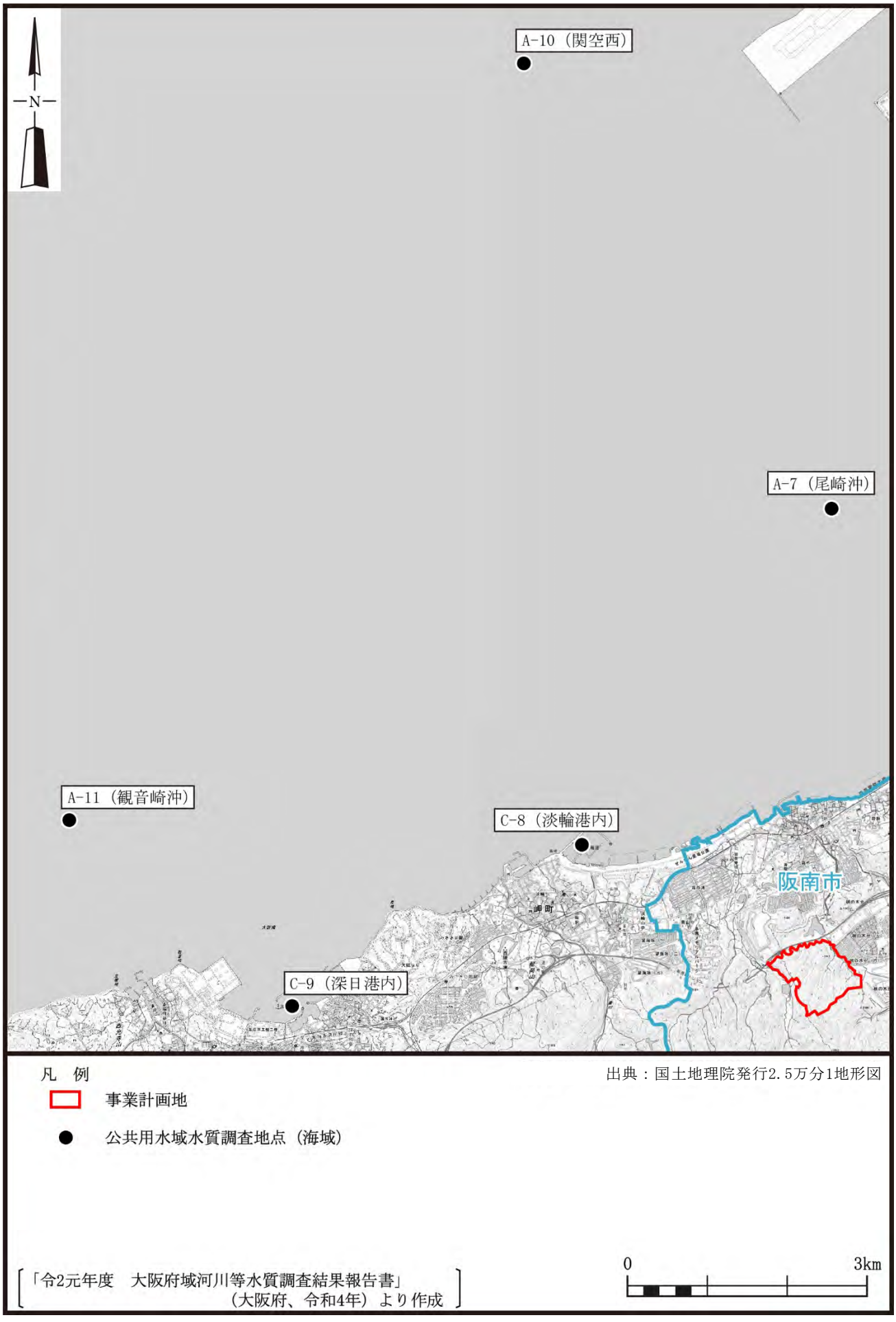


図 4-2-5（2）　事業計画地周辺の海域における水質調査地点の位置

① 生活環境項目

令和２年度における生活環境項目の水質調査結果は、表 4-2-16(1)～(7)に示すとおりである。

事業計画地周辺の海域における調査地点はいずれも環境基準点である。ただし、C-7（尾崎港内）及び C-8（淡輪港内）は、全窒素、全りん及び水生生物保全項目を除く。

表 4-2-16(1)　生活環境項目の水質調査結果（令和２年度）

項目	単位	A-3（りんくう沖）（A 類型・Ⅱ類型・生物特 A）			
		大阪湾（３）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	2/12	7.9	8.4	
DO	mg/L	1/12	7.4	11	9.4
COD	mg/L	10/12	1.7	4.3	2.7
大腸菌群数	MPN/100mL	0/12	<1.8	1.7×10^{1}	4.3×10^{0}
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	0/12	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	3/12	0.11	0.51	0.24
全りん	mg/L	5/12	0.020	0.080	0.036
全亜鉛	mg/L	0/4	0.001	0.004	0.003
ノニルフェノール	mg/L	0/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和２年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和４年)より作成〕

表 4-2-16(2)　生活環境項目の水質調査結果（令和２年度）

項目	単位	A-7（尾崎沖）（A 類型・Ⅱ類型・生物特 A）			
		大阪湾（４）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	2/12	7.8	8.6	
DO	mg/L	2/12	6.3	11	8.8
COD	mg/L	8/12	1.4	6.3	2.6
大腸菌群数	MPN/100mL	0/12	<1.8	4.5×10^{0}	2.0×10^{0}
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	0/12	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	2/12	0.11	1.0	0.27
全りん	mg/L	5/12	0.018	0.039	0.03
全亜鉛	mg/L	0/4	<0.001	0.006	0.003
ノニルフェノール	mg/L	0/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和２年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和４年)より作成〕

表 4-2-16(3)　生活環境項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	A-10（関空西）（A 類型・Ⅱ類型・生物 A）			
		大阪湾（５）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	2/12	7.9	8.7	
DO	mg/L	1/12	6.8	10	8.8
COD	mg/L	3/12	1.5	3.5	2.0
大腸菌群数	MPN/100mL	0/12	<1.8	1.3×10^{1}	3.0×10^{0}
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	0/12	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	3/12	0.10	1.0	0.28
全りん	mg/L	4/12	0.018	0.10	0.034
全亜鉛	mg/L	0/4	0.001	0.008	0.005
ノニルフェノール	mg/L	0/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和 4 年)より作成〕

表 4-2-16(4)　生活環境項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	A-11（観音崎沖）（A 類型・Ⅱ類型・生物 A）			
		大阪湾（５）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	1/12	7.9	8.7	
DO	mg/L	1/12	7.0	10	8.6
COD	mg/L	3/12	1.2	2.5	1.7
大腸菌群数	MPN/100mL	0/12	<1.8	<1.8	<1.8
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	0/12	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	1/12	0.08	0.33	0.19
全りん	mg/L	3/12	0.013	0.053	0.026
全亜鉛	mg/L	0/4	<0.001	0.010	0.005
ノニルフェノール	mg/L	0/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」(大阪府、令和 4 年)より作成〕

表 4-2-16(5)　生活環境項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	C-7（尾崎港内）（C 類型）			
		尾崎港			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	1/12	7.5	8.4	
DO	mg/L	0/12	5.6	10	8.2
COD	mg/L	0/12	1.8	3.6	2.5
大腸菌群数	MPN/100mL				
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	-/2	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	-/4	0.11	0.42	0.30
全りん	mg/L	-/4	0.035	0.051	0.045
全亜鉛	mg/L	-/2	0.004	0.005	0.005
ノニルフェノール	mg/L	-/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	-/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

表 4-2-16(6)　生活環境項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	C-8（淡輪港内）（C 類型）			
		淡輪港			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	1/12	7.5	8.4	
DO	mg/L	0/12	6.8	10	8.7
COD	mg/L	0/12	1.3	2.9	2.0
大腸菌群数	MPN/100mL				
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	-/2	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	-/4	0.10	0.84	0.32
全りん	mg/L	-/4	0.026	0.052	0.039
全亜鉛	mg/L	-/2	<0.001	0.004	0.003
ノニルフェノール	mg/L	-/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	-/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

表 4-2-16(7)　生活環境項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	C-9（深日港内）（C 類型）			
		深日港			
		m/n	最小値	最大値	平均値
pH	単位なし	1/12	7.5	8.5	
DO	mg/L	0/12	6.2	9.9	8.0
COD	mg/L	0/12	1.3	2.6	1.8
大腸菌群数	MPN/100mL				
n-ヘキサン抽出物質	検出されないこと	-/2	N.D	N.D	N.D
全窒素	mg/L	-/4	0.10	0.26	0.18
全りん	mg/L	-/4	0.023	0.042	0.032
全亜鉛	mg/L	-/2	0.001	0.005	0.003
ノニルフェノール	mg/L	-/2	<0.00006	<0.00006	<0.00006
LAS	mg/L	-/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

② 健康項目

令和２年度における健康項目の水質調査結果は、表 4-2-17(1)～(3)に示すとおりである。

表 4-2-17(1)　健康項目の水質調査結果（令和２年度）

項　目	単位	環境基準	A-7（尾崎沖）			
			大阪湾（４）			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下				
全シアン	mg/L	検出されないこと				
鉛	mg/L	0.01mg/L以下				
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下				
砒素	mg/L	0.01mg/L以下				
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下				
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと				
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下				
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下				
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下				
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下				
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下				
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下				
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下				
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下				
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下				
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下				
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下				
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下				
セレン	mg/L	0.01mg/L以下				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	0/12	<0.08	0.56	0.12
ふっ素	mg/L	—				
ほう素	mg/L	—				
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下				

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」のｎは調査対象検体数、ｍは環境基準を超えた検体数を表している。
3. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和２年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和４年）より作成〕

表 4-2-17(2)　健康項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項　目	単位	環境基準	C-7（尾崎港内）			
			尾崎港			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	0/2	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	0/2	N.D	N.D	N.D
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	0/2	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	0/1	N.D	N.D	N.D
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	0/2	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	0/2	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	0/2	<0.004	<0.004	<0.004
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下	0/2	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	0/2	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	0/2	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	0.01mg/L以下	0/2	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	0/4	<0.08	0.29	0.16
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	-/2	1.2	1.2	1.2
ほう素	mg/L	1mg/L以下	-/2	4.3	5.1	4.7
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	0/2	<0.005	<0.005	<0.005

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

表 4-2-17(3)　健康項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項　目	単位	環境基準	C-8（淡輪港内）			
			淡輪港			
			m/n	最小値	最大値	平均値
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下				
全シアン	mg/L	検出されないこと				
鉛	mg/L	0.01mg/L以下				
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下				
砒素	mg/L	0.01mg/L以下				
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下				
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと				
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと				
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下				
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下				
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下				
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下				
シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下				
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下				
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下				
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下				
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下				
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下				
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下				
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下				
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下				
セレン	mg/L	0.01mg/L以下				
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	0/4	<0.08	0.08	0.08
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下				
ほう素	mg/L	1mg/L以下				
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下				

注：1. 表層の値である。
　　2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。
　　3. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。
〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年より作成〕

③ 特殊項目

令和2年度における特殊項目の水質調査結果は、表 4-2-18(1)～(3)に示すとおりである。

表 4-2-18(1)　特殊項目の水質調査結果（令和2年度）

項目	単位	A-7（尾崎沖） 大阪湾（4）			
		m/n	最小値	最大値	平均値
フェノール類	mg/L				
銅	mg/L				
亜鉛	mg/L	0/4	<0.001	0.006	0.003
鉄（溶解性）	mg/L				
マンガン（溶解性）	mg/L				
全クロム	mg/L				
陰イオン界面活性剤	mg/L	0/2	<0.01	<0.01	<0.01
クロロフィルa	μg/L	-/12	<0.1	18	4.4
アンモニア性窒素	mg/L	-/12	<0.04	0.06	0.05
硝酸性窒素	mg/L	-/12	<0.04	0.56	0.09
亜硝酸性窒素	mg/L	-/12	<0.04	<0.04	<0.04
リン酸性リン	mg/L	-/12	<0.003	0.035	0.012
SS	mg/L	-/12	2	5	3
VSS	mg/L	-/12	<1	3	2
濁度	度・ｶｵﾘﾝ	-/12	0.6	3.2	1.4

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」のnは調査対象検体数、mは環境基準を超えた検体数を表している。mが（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和2年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和4年）より作成〕

表 4-2-18(2)　特殊項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	C-7（尾崎港内）			
		尾崎港			
		m/n	最小値	最大値	平均値
フェノール類	mg/L	0/2	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	0/2	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛	mg/L	0/2	0.004	0.005	0.005
鉄（溶解性）	mg/L	0/2	<0.08	<0.08	<0.08
マンガン（溶解性）	mg/L	-/2	0.01	0.01	0.01
全クロム	mg/L	0/2	<0.03	<0.03	<0.03
陰イオン界面活性剤	mg/L	0/2	<0.01	<0.01	<0.01
クロロフィル a	μg/L	-/12	0.5	12	4.2
アンモニア性窒素	mg/L	-/4	<0.04	0.15	0.07
硝酸性窒素	mg/L	-/4	0.04	0.29	0.14
亜硝酸性窒素	mg/L	-/4	<0.04	<0.04	<0.04
リン酸性リン	mg/L	-/4	0.006	0.036	0.016
SS	mg/L				
VSS	mg/L				
濁度	度・ｶｵﾘﾝ	-/12	0.7	3.4	2.1

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

表 4-2-18(3)　特殊項目の水質調査結果（令和 2 年度）

項目	単位	C-8（淡輪港内）			
		淡輪港			
		m/n	最小値	最大値	平均値
フェノール類	mg/L				
銅	mg/L				
亜鉛	mg/L	0/2	<0.001	0.004	0.003
鉄（溶解性）	mg/L				
マンガン（溶解性）	mg/L				
全クロム	mg/L				
陰イオン界面活性剤	mg/L	0/2	<0.01	<0.01	<0.01
クロロフィル a	μg/L	-/12	0.2	9.9	3.5
アンモニア性窒素	mg/L	-/4	<0.04	0.05	0.04
硝酸性窒素	mg/L	-/4	<0.04	0.08	0.06
亜硝酸性窒素	mg/L	-/4	<0.04	<0.04	<0.04
リン酸性リン	mg/L	-/4	0.005	0.017	0.013
SS	mg/L				
VSS	mg/L				
濁度	度・ｶｵﾘﾝ	-/12	0.8	2.8	1.5

注：1. 表層の値である。
2. 「m/n」の n は調査対象検体数、m は環境基準を超えた検体数を表している。m が（-）であるところは、環境基準、指針等がないことを示す。
3. 表中の「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

④　ダイオキシン類

阪南市での海域におけるダイオキシン類調査結果は表 4-2-19 に、調査地点は、図 4-2-6 に示すとおりである。

表 4-2-19　ダイオキシン類の測定結果（令和 2 年度）

調査主体	水域名	調査地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)	底質測定値 (pg-TEQ/g)
大阪府	大阪湾（4）	尾崎沖（A-7）	0.051	7.7

注：年間測定回数は 1 回である。

〔「大阪府環境白書　2021 年」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

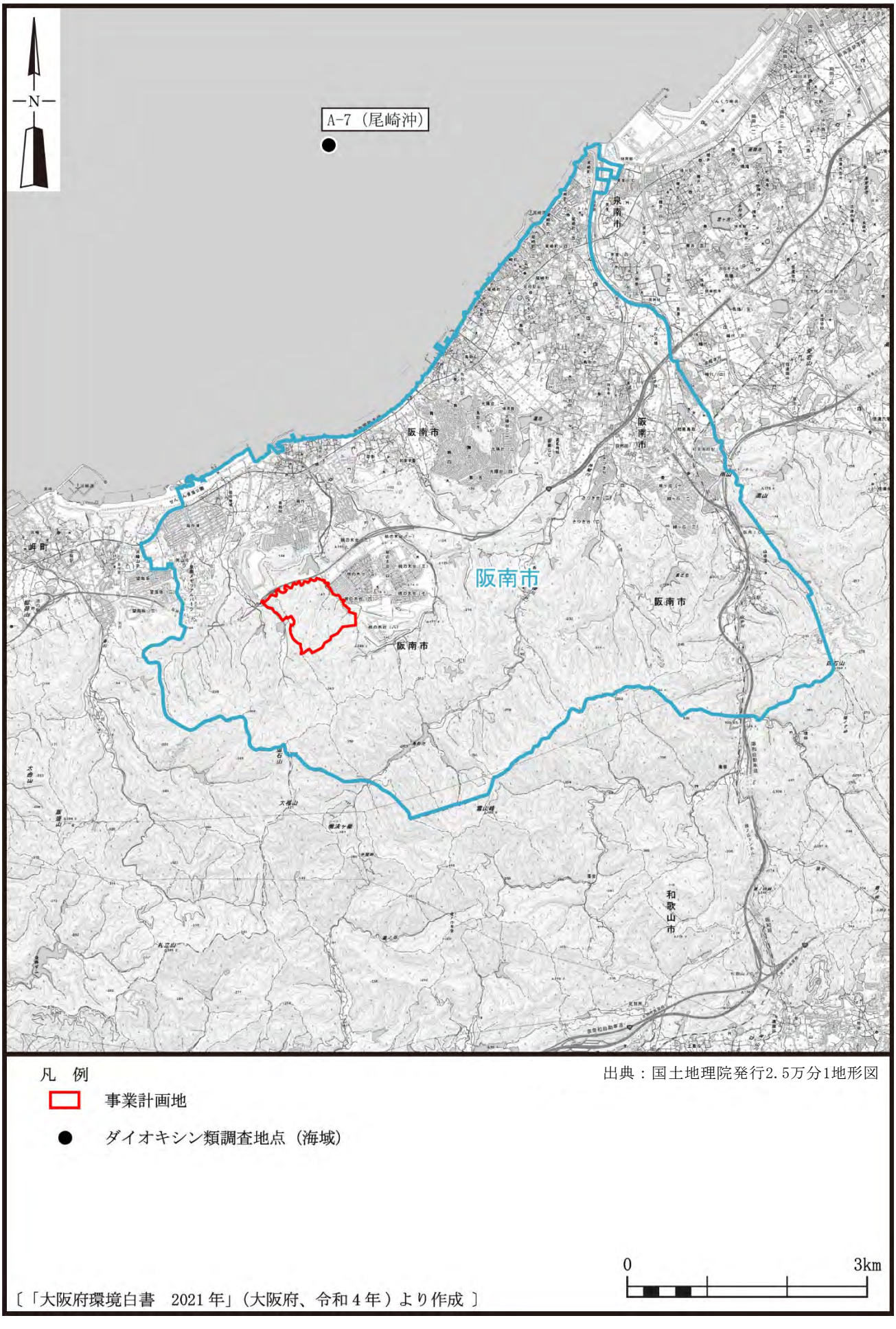


図 4-2-6　事業計画地周辺の海域におけるダイオキシン類調査地点の位置

（３）地下水水質

事業計画地周辺における地下水調査結果は、表 4-2-20 に示すとおりである。

阪南市では健康項目 28 項目について阪南市桑畑 1 地点で概況調査を実施しており、全項目が環境基準に適合している。

また、ダイオキシン類は、表 4-2-21 に示すとおり、令和元年度に阪南市域において測定されており、環境基準に適合している。

表 4-2-20　地下水質概況調査の調査結果（令和 2 年度）

項　目	単位	環境基準	桑畑
カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	<0.0003
全シアン	mg/L	検出されないこと	N.D
鉛	mg/L	0.01mg/L以下	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05mg/L以下	<0.02
砒素	mg/L	0.01mg/L以下	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと	
ＰＣＢ	mg/L	検出されないこと	N.D
ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002
四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002
クロロエチレン	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002
1.2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	<0.0004
1.1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下	<0.002
1.2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	<0.004
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	<0.0005
1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.0005
1.3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002
チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006
シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002
ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001
セレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	#　0.78
ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	<0.08
ほう素	mg/L	1mg/L以下	#　0.06
1.4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	<0.005

注：1. 数値は平均値を示す。
2. 表中の「N.D」は検出されず、「空欄」は測定せず、「<」は報告下限値未満、「#」は検出したが環境基準値以下の検出を示す。

〔「令和 2 年度　大阪府域河川等水質調査結果報告書」（大阪府、令和 4 年）より作成〕

表 4-2-21　ダイオキシン類地下水質調査結果（令和元年度）

調査地点	測定値	環境基準
阪南市箱作	0.049	1pg-TEQ/L以下

〔「大阪府環境白書　2020 年版」（大阪府、令和 2 年）より作成〕

４－２－３　土壌環境

事業計画地周辺におけるダイオキシン類の土壌調査結果は表 4-2-22 に、調査地点は図 4-2-7 に示す。

平成 22 年～令和元年までに 1 地点の調査を実施しており、その結果は環境基準値を下回っている。

表 4-2-22　ダイオキシン類の土壌調査結果

単位：pg - TEQ/g

調査年度	調査地点	調査結果
平成 23 年度	阪南市立下荘保育所	0.11

〔「大阪府環境白書　2011～2020 年版」（大阪府、平成 23 年～令和 2 年）より作成〕

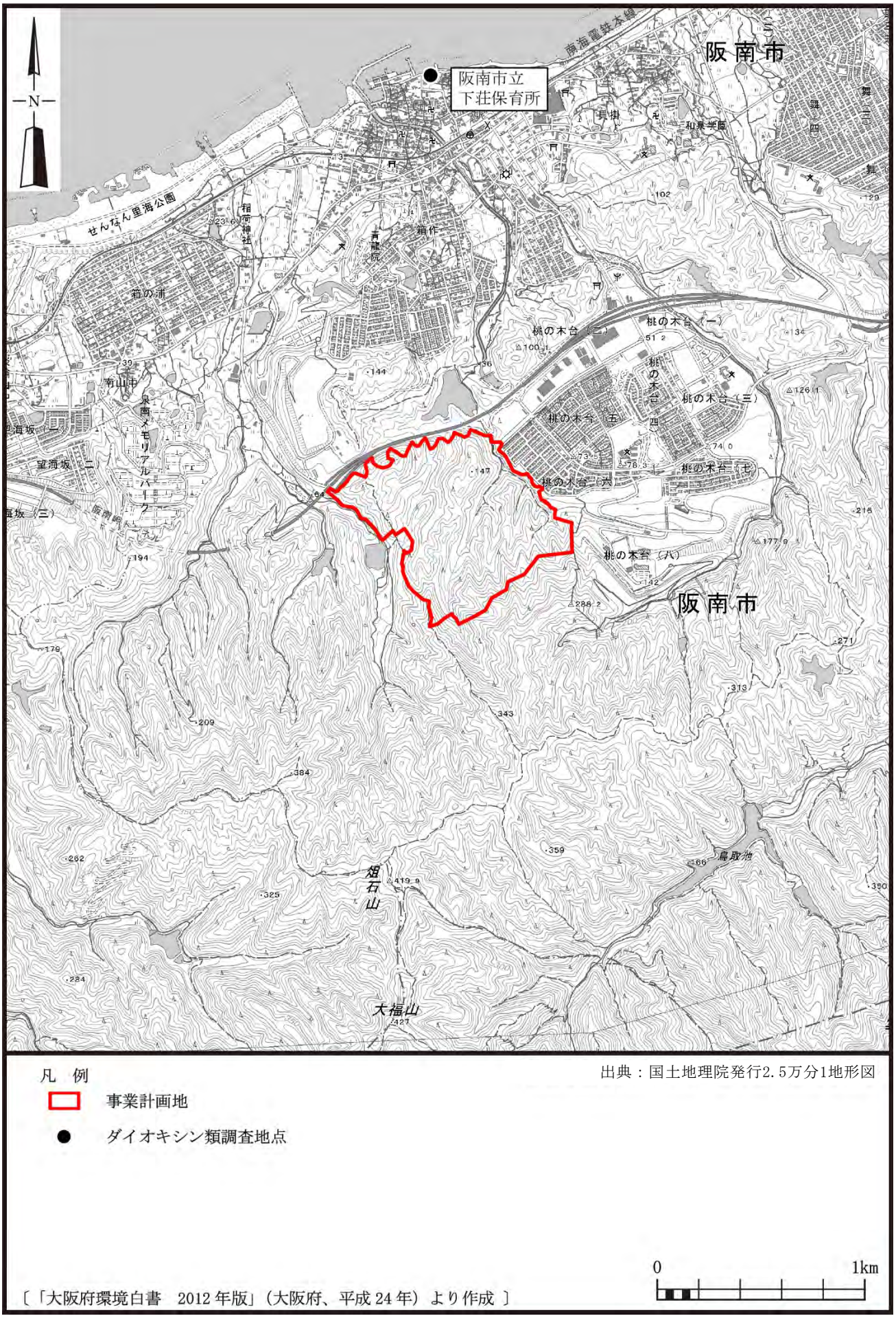


図 4-2-7　事業計画地周辺におけるダイオキシン類の土壌調査地点

４－２－４　その他生活環境

（１）騒音

①　環境騒音（道路に面しない地域）

阪南市における一般環境騒音の調査結果は表 4-2-23 に、調査地点は図 4-2-8 に示すとおりである。

阪南市においては平成 29､28、27 年度に 15 地点で調査を実施しており、平成 27 年度調査における 1 地点以外は、環境基準値に適合している。

表 4-2-23　環境騒音の測定結果（平成 29、28、27 年度）

図中番号	調 査 地 点	地域類型	騒音レベル（単位：ｄB）		環境基準値 ○：基準値以下 ×：基準値超過		調査年度
			昼間	夜間	昼間	夜間	
1	阪南市貝掛 1251-1	A	47	35	○	○	平成29年度
2	阪南市箱の浦 1-76	A	46	35	○	○	平成29年度
3	阪南市鳥取 1183	B	47	39	○	○	平成29年度
4	阪南市下出 26-2	C	50	47	○	○	平成29年度
5	阪南市下出 791-2	C	43	35	○	○	平成29年度
6	阪南市緑ヶ丘 2-15	A	48	39	○	○	平成28年度
7	阪南市光陽台 2-13	A	44	34	○	○	平成28年度
8	阪南市箱作 446	A	48	41	○	○	平成28年度
9	阪南市箱作 2860	A	52	34	○	○	平成28年度
10	阪南市尾崎町 5-6	C	45	36	○	○	平成28年度
11	阪南市舞 3-18-9	A	57	43	×	○	平成27年度
12	阪南市箱作 945	A	50	37	○	○	平成27年度
13	阪南市桃の木台 5 丁目付近	A	43	40	○	○	平成27年度
14	阪南市自然田 1416	B	52	40	○	○	平成27年度
15	阪南市尾崎町 8-488-11	C	48	43	○	○	平成27年度

注：1. 図中番号は、図 4-2-8 に対応している。
2. 地域類型 A～C の該当地域は、以下に示す。
A：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域
第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域
B：第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、用途地域の指定のない地域
C：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域
3. 昼間は 6～22 時、夜間は 22 時～翌日 6 時を示す。

（「平成 29、28、27 年度　環境騒音モニタリング調査結果報告書」（大阪府、令和元年、平成 30 年、平成 29 年）より作成）

② 自動車騒音（道路に面する地域）

阪南市における自動車騒音の調査結果は表 4-2-24 に、調査地点は図 4-2-9 に示すとおりである。

阪南市においては令和 3 年度～令和元年度に 8 地点で調査を実施しており、全地点において、環境基準値に適合している。

表 4-2-24　自動車騒音の測定結果（令和 3 年度～令和元年度）

図中番号	道路名	調 査 地 点	地域類型	騒音レベル（単位：dB）		環境基準値 ○：基準値以下 ×：基準値超過		調査年度
				昼間	夜間	昼間	夜間	
1	阪和自動車道	阪南～和歌山北	近	54	53	○	○	令和元年度
2	一般国道 26 号	阪南～泉南	近	66	60	○	○	令和 2 年度
3	一般国道 26 号	黒田～自然田	近	58	50	○	○	令和 2 年度
4	一般国道 26 号	黒田～箱の蒲	近	67	61	○	○	令和元年度
			近	66	61	○	○	令和 2 年度
			近	64	60	○	○	令和 3 年度
5	一般国道 26 号	自然田	近	61	54	○	○	令和 3 年度
6	一般国道 26 号	自然田～桃の木台	近	62	57	○	○	令和 3 年度
7	一般国道 26 号	桃の木台	近	66	62	○	○	令和 3 年度
8	自然田鳥取荘停車場線	自然田～鳥取	近	64	57	○	○	令和 3 年度

注：1. 図中番号は、図 4-2-9 に対応している。

2. 地域類型近は、道路に面する地域のうち、幹線交通を担う道路に近接する空間を示す。

幹線交通を担う道路

・道路法(昭和27 年法律第180 号)第3条に規定する高速自動車国道、一般国道、府道及び市町村道(市町村道にあっては4車線以上の車線を有する区間に限る。)。

・道路運送法(昭和26 年法律第183 号)第2条第8項に規定する一般自動車道であって都市計画法施行規則(昭和44 年建設省令第49 号)第7条第1項第1号に定める自動車専用道路。

幹線交通を担う道路に近接する空間

幹線交通を担う道路の道路端から、以下の距離の範囲

・2車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路　　15メートル

・2車線を超える車線を有する幹線交通を担う道路　20メートル

3. 昼間は 6～22 時、夜間は 22 時～翌日 6 時を示す。

〔「環境騒音調査　令和元年、令和 2 年、令和 3 年」（阪南市ホームページ）より作成〕

（２）振動

振動調査は、阪南市域においては実施されていない。

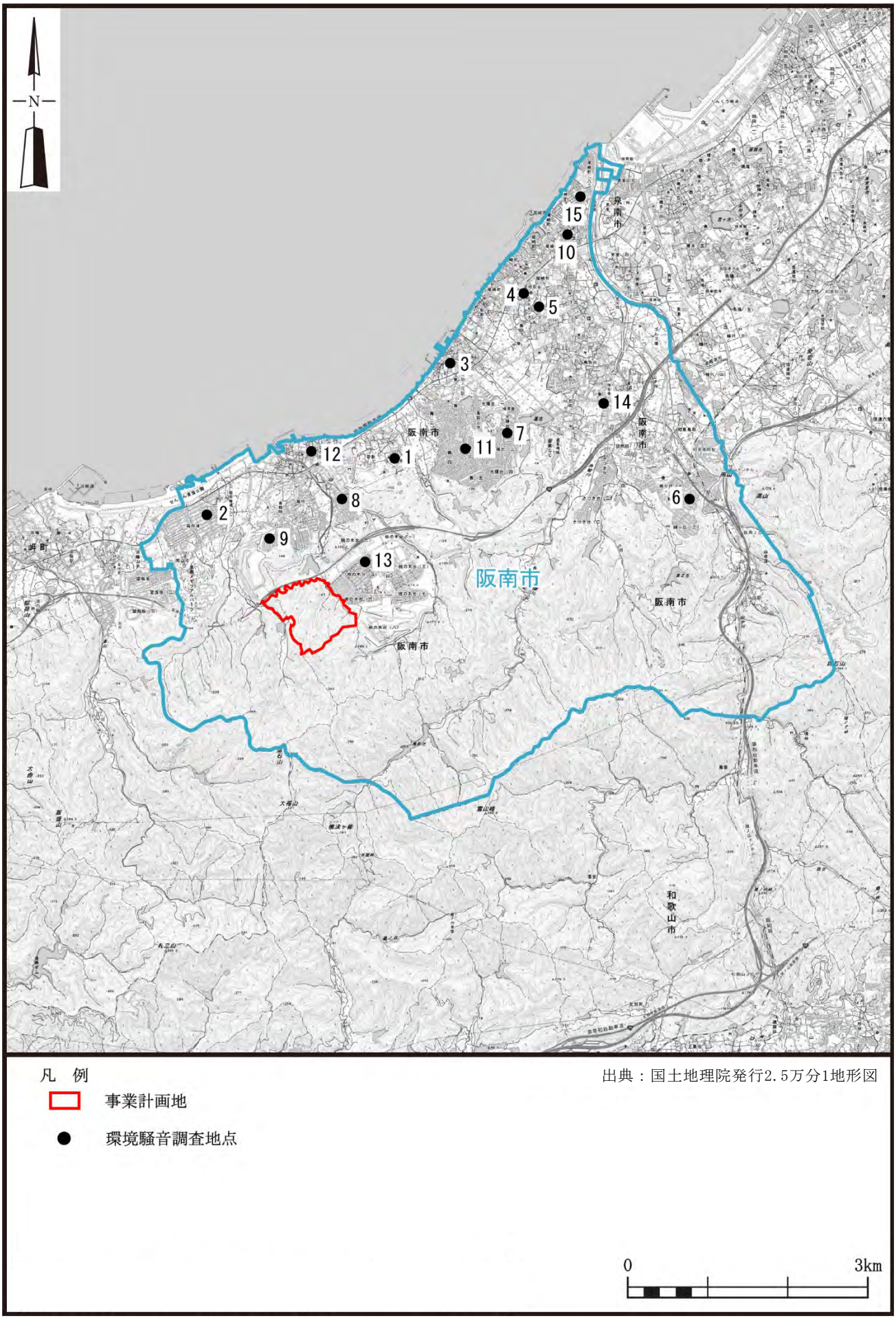


図 4-2-8　事業計画地周辺における環境騒音の調査地点

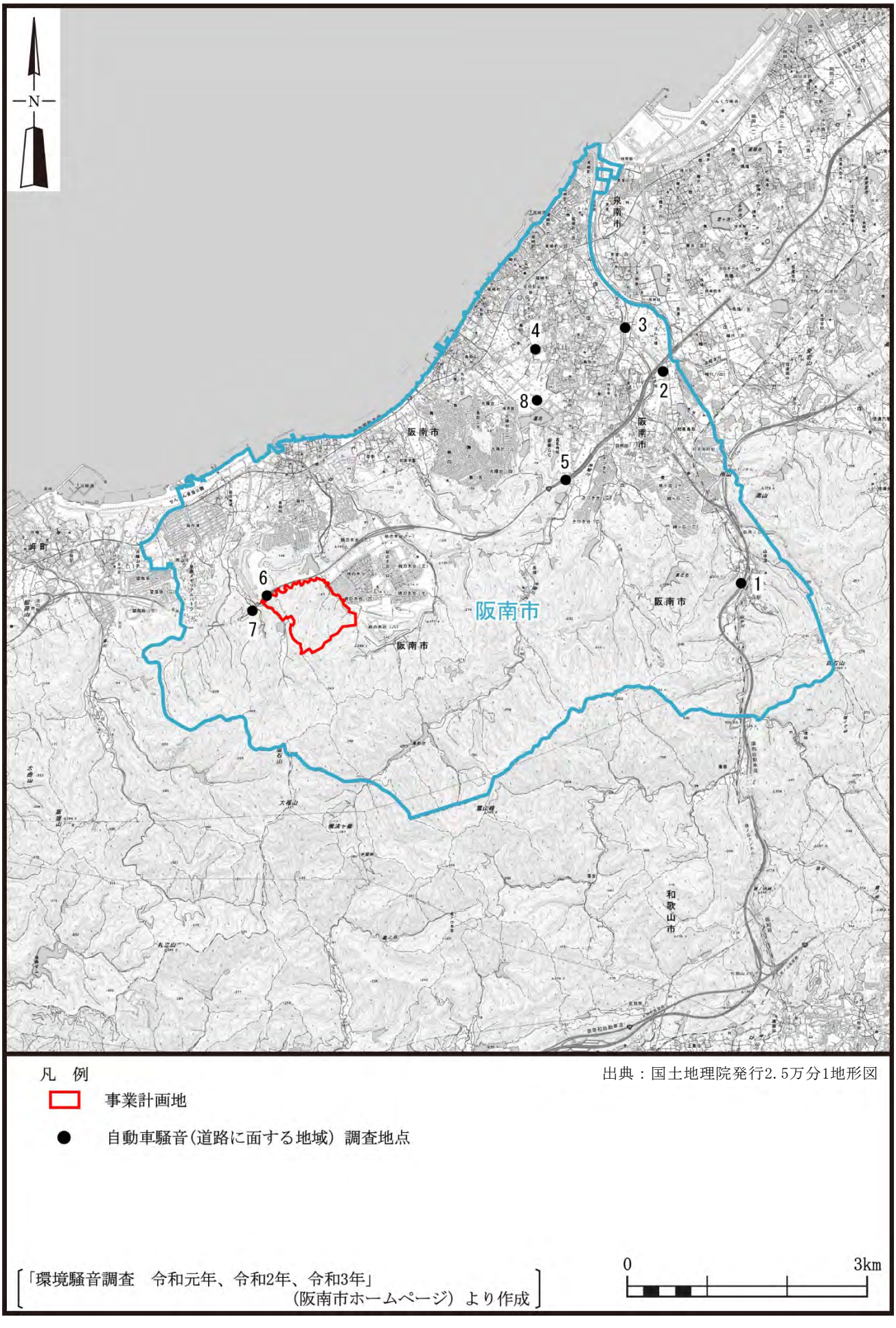
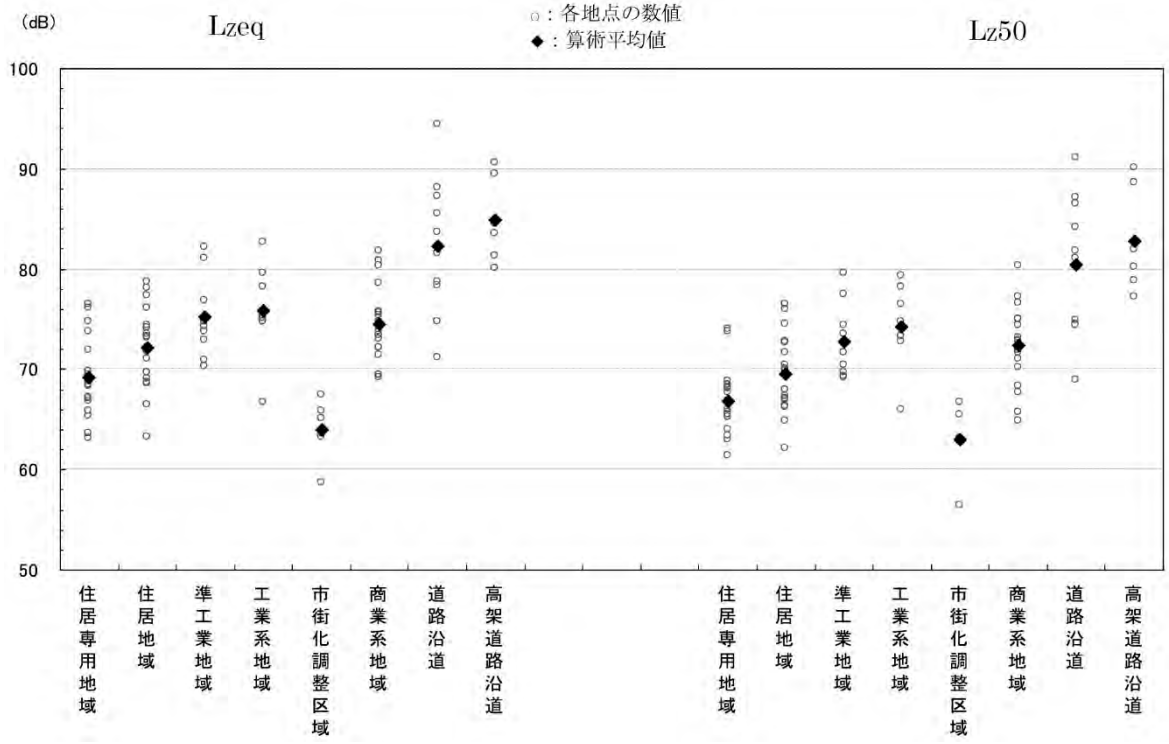


図 4-2-9　事業計画地周辺における自動車騒音（道路に面する地域）の調査地点

（３）低周波音

大阪府内における一般環境中の低周波音の音圧レベルは、図 4-2-10 に示すとおりである。高架道路沿道及び道路沿道が相対的に高い値であり、市街化調整区域及び住居専用地域が低い値となっている。なお、低周波音による物的苦情に関する参照値は表 4-2-25 に、低周波音による心身に係る苦情に関する参照値は G 特性音圧レベル LG=92dB 及び表 4-2-26 に示すとおりである。



注：1. 平成 14～16 年度に 93 地点で測定。
2. 図左側は 1 ～90Hz のオーバーオールの等価騒音レベル（L_{eq}）を示す。
3. 図右側は 1 ～90Hz のオーバーオールの時間率騒音レベルの中央値（L_{50}）を示す。
4. 両図とも平坦値（聴感補正なし）を示す。

〔「大阪府環境白書　2021 年」(大阪府、令和 4 年)より作成〕

図 4-2-10　大阪府内における一般環境中の低周波音の音圧レベル

表 4-2-25　低周波音による物的苦情に関する参照値

1/3 ｵｸﾀｰﾌﾞﾊﾞﾝﾄﾞ中心周波数(Hz)	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50
1/3 ｵｸﾀｰﾌﾞﾊﾞﾝﾄﾞ音圧レベル（dB）	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99

「低周波音問題対応の手引書　低周波音問題対応のための「評価指針」」（環境省ホームページ）より作成

表 4-2-26　低周波音による心身に係る苦情に関する参照値

1/3 ｵｸﾀｰﾌﾞﾊﾞﾝﾄﾞ中心周波数(Hz)	10	12.5	16	20	25	31.5	40	50	63	80
1/3 ｵｸﾀｰﾌﾞﾊﾞﾝﾄﾞ音圧レベル（dB）	92	88	83	76	70	64	57	52	47	41

「低周波音問題対応の手引書　低周波音問題対応のための「評価指針」」（環境省ホームページ）より作成

（４）公害苦情

阪南市における平成 29 年度～令和 3 年度の公害の種類別苦情受付件数は、表 4-2-27 に示すとおりである。

平成 29 年度～令和 3 年度の苦情件数は、年により増減があり、種類別にみると平成 29 年度は野焼きについての苦情、令和元年度は騒音についての苦情、令和 2 年度は水質汚濁についての苦情が多く寄せられている。

表 4-2-27　公害種類別苦情受付件数一覧

年度	総数	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	野焼き	その他
平成 29 年度	18	0	4	0	6	0	0	1	8	0
平成 30 年度	13	0	2	0	2	0	0	3	4	3
令和元年度	17	1	2	0	6	0	0	2	3	4
令和 2 年度	16	1	5	0	3	1	0	4	3	2
令和 3 年度	12	2	0	0	4	1	0	4	4	2

〔「公害苦情発生件数」（阪南市ホームページ）より作成〕

https:// www.city.hannan.lg.jp/kakuka/shimin/seikatsu_k/kankyouhozen/kougai/sonota/kanshin.html